

とちぎ米産地だより【11月号】

<24年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第8号 平成24年11月8日
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. とちぎ米生長日記

●24年産とちぎ米の作況指数は101(県北101・県中99・県南102)、
県全体の予想収量は 544kg/10aが見込まれます。

本年度は5月・6月の低温と日照不足により生育は抑制されましたが、
7月以降の高温、8月中旬以降の高温・多湿と気温日較差もあったため、
登熟は「やや良」となりました。

- 穂数 : 平年並み
- 1穂当たりもみ数 : やや少ない
- 登熟 : やや良
- 全もみ数 : やや少ない

- ★10/18現在、刈り取りは県全体でほぼ100%終了しております。
- ★11/5現在、主食うるち米の1等比率は92%です。

2. 栃木県のイベント情報

第14回 JALしもつけふれあい祭り

この『ふれあいまつり』は、JAと組合員との結びつきをさらに強化するとともに、
地域住民との親睦ならびに農業とJAへの理解をより一層深めていくことと併せ、
JA事業の利用拡大を図ることを目的として、毎年開催されています。

★催し物★

生産者と消費者が
「出会い、ふれあい、理解し合う」イベント！
農産物直売会や農産物品評会などなど。

担当者「全地区が趣向を凝らした個性派企画でおもてないたします！」

★開催時間★

◎各地区各日ともに
午前9時～午後3時
◎大平地区は
午前9時半～午後3時



壬生地区

栃木地区



地区	開催場所	開催日
都賀	都賀町シルバー人材センター	11月17日(土)
岩舟	岩舟地区青果物一元集荷所	11月17日(土)～18日(日)
大平	大平運動公園	11月23日(金)
藤岡	藤岡総合体育館	11月24日(土)～25日(日)
栃木	栃木市総合運動公園	12月1日(土)～2日(日)
壬生	壬生地区営農経済センター	12月1日(土)～2日(日)

3. 産地紹介 ～栃木県内のJAを紹介します！～



地域のみなさまと共に支え合いながら
豊かな未来を目指します



管内は栃木県の南部に位置し、管内総面積は約361平方キロメートル。2003年3月に1市5町(栃木市、都賀町、壬生町、大平町、藤岡町、岩舟町)の4JA(JAしもつけ、JA水代、JA藤岡中央、JA岩舟町)が合併し新生JAしもつけとして誕生しました。管内は西部・北部周辺には標高の低い山地があり、中央部から東部にかけては関東平野の平坦地が広がり水田・畑作地帯を形成しています。耕地面積は12,940ヘクタールで、耕地率35,9%と県平均(20,6%)を大きく上回り、主な河川は東部に思川、中央に永野川・巴波川が南流し、南端の渡良瀬川と合流しており、これらを水源として地区内の水田率は81,4%となっていますが、中央部の水田率は高く90%を超えています。気候は、年平均気温13,9℃、年間降水量1,203mmで、比較的温暖な恵まれた環境にあります。

JAしもつけはぶどうの王様、「巨峰」の栽培量、県下1位を誇っています。JA管内では栃木市大平町と岩舟町で大規模な「ぶどう団地」が形成され、県内観光の一翼を担っています。水切れの良い畑で太陽の光をまんべんなく受けて育った巨峰は大粒で甘く食味も良いと評判です。

また管内はビール大麦の受渡数量全国第1位を誇っています。主な品種は「サチホゴールドン」、「スカイゴールドン」など。ビールだけではなく焼酎の原料としても使われる栃木の麦秋(5月下旬～6月上旬頃)を彩る作物です。

JAしもつけは2011年に農家から借りた農地で農作業を行い、増加する担い手不足や耕作放棄地の解消をめざす(株)グリーンファームしもつけをJA出資型生産法人として県内で初めて設立しました。現在は栃木東支店を管轄とした地域での実施ですが、「将来的には全地区に広げていきたい」との意向を示しています。



JALしもつけ産 あさひの夢

◆「あさひの夢」とは・・・栃木県南部を中心に作付けされている「あさひの夢」は、適度なねばりを持ち、やや大粒で光沢がある、舌触りの良いさっぱりとしたお米です。栽培性にもすぐれ、縞葉枯病・いもち病にも強い特徴を持ち、栃木県の奨励品種の1つとなっています。

◆「あさひの夢」の大生産地・・・南部でも特に生産量が多いのが、JAしもつけです。JAしもつけの23年産あさひの夢の集荷量は6,741tと、県内の約40%を占める栃木の生産地です。管内の栃木市には、**JALしもつけ種子センター**が完成し、2月より稼働を開始しています。新センターでは、**温湯消毒**を導入することにより、今までの薬液消毒よりも農薬の2成分を削減させました。さらに温湯消毒のほうが発芽が2～3日早く、苗の活着も良いというメリットがあり、業務用米として根強い人気のある「あさひの夢」を安心・安全に、そしてまとまった量の均質な米を安定的に供給しています。同JAでは、「しもつけ産あさひの夢」を業務用米の中でも存在感のあるものに育てていくことを目指しています。

◆**業務用向きである理由**・・・一般的に業務用と呼ばれる外食・中食向けのお米は、食味・品質に厳しい条件が求められます。この厳しい条件に応えるのが「あさひの夢」なのです。一等米比率が高いことに加えリーズナブルな価格設定であることから、業務用途の人気が高いです。粘り気が少ない特徴から、特に丼物などの相性は抜群です。



～ 大平山下に広がる あさひの夢 ～



JAグループ栃木

※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。
JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037